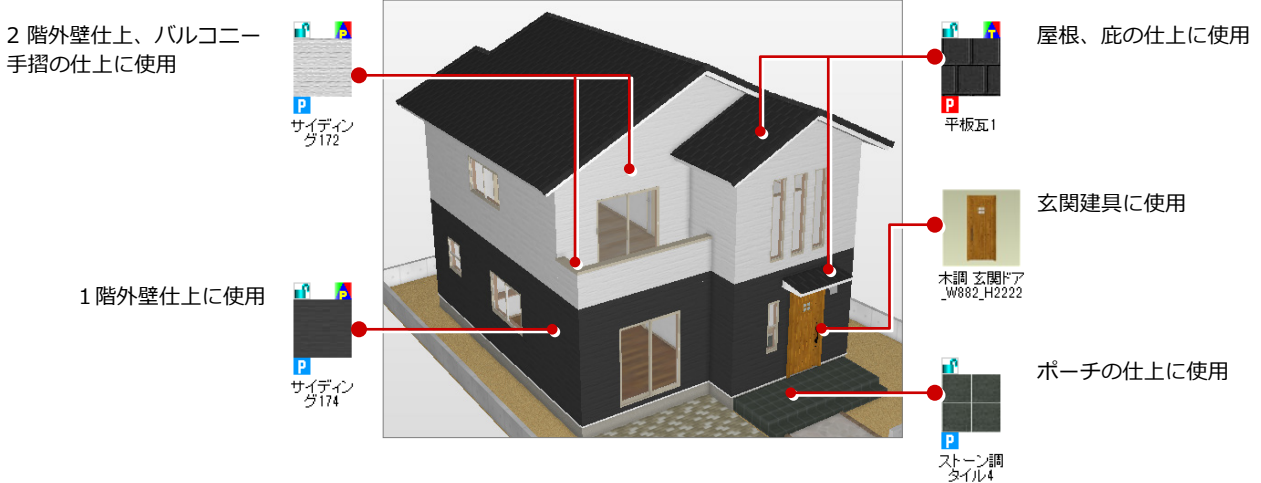


1 仕様書を作成するには

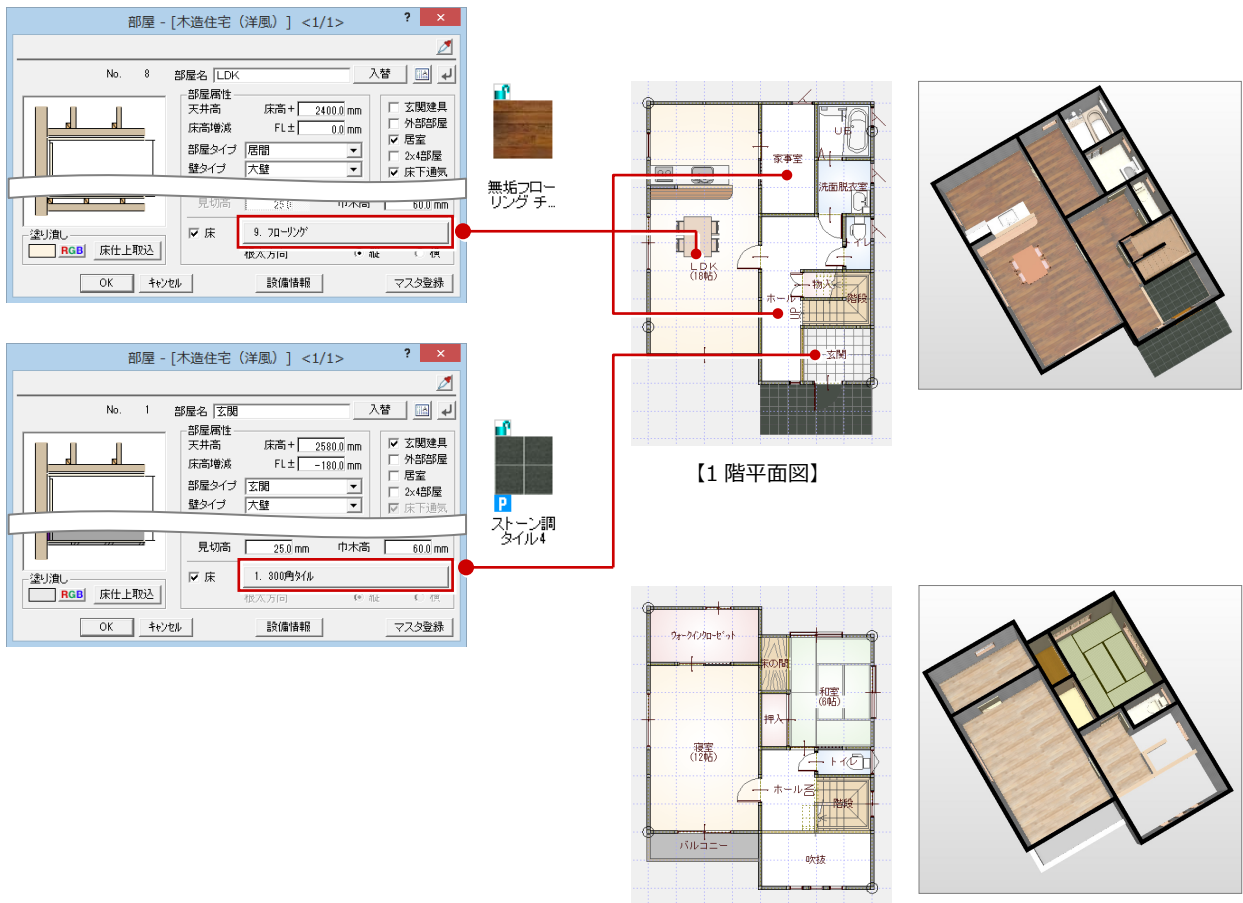
仕様書の元になる平面図、天井伏図、屋根伏図を作成し（配置図は対象外）、これらの図面データから仕様書を作成します。

平面図・屋根伏図・天井伏図を作成する

ここでは、次の建物を作成します。ここでは、「プラン作成編」を元に、次のように仕上の素材、建具を変更しています。
 ※ 天井伏図は「プラン作成編」と同様です。



※ LDK、ホール、家事室、玄関の部屋属性ダイアログで床仕上の素材を変更してから、「一括作成」を行っています。



※ 2階平面図（外壁仕上を除く）は、「プラン作成編」と同様です。

図面から仕様書を作成する

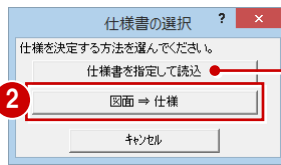
1 ツールバーの [仕様書からの入力] をクリックします。

2 [仕様書の選択] ダイアログで [図面⇒仕様] をクリックします。

※ このダイアログは、編集中の物件において、初めて仕様書を使うときに表示されます。

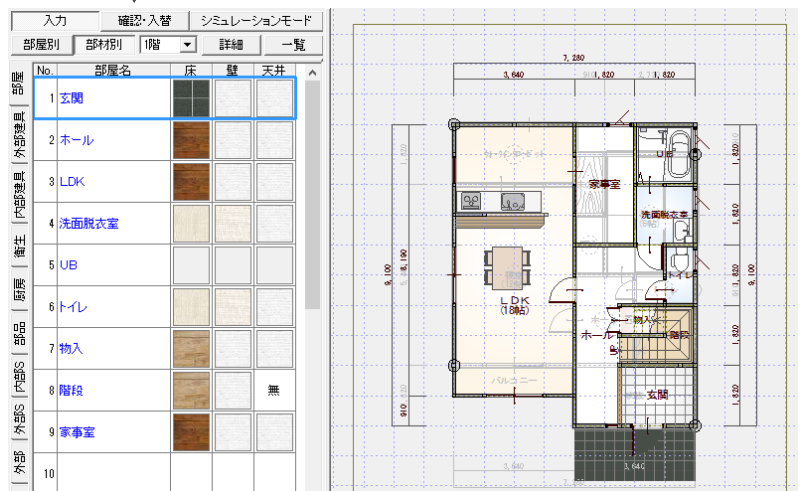
3 [仕様一覧] ダイアログを確認して、[OK] をクリックします。

4 物件初期設定の確認画面で [OK] をクリックします。
仕様書パネルが開きます。



ひな形として仕様書がファイルに保存されている場合、仕様書を読み込んで図面を作成します (⇒ P.9)。
また、仕様書を編集したいときにも使用します。

部屋別	部材別	階	詳細	仕様	設備	備考
1 玄関	天井/床高		2580.00 -180.00	床	1セグメント 300×300 タイル下地モルタル	巾木 3種普通タイル 300×300 下地モルタル
	大壁		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
2 ホール	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
3 LDK	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
4 洗面脱衣室	天井/床高		2200.00 -20.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
5 UB	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
6 トイレ	天井/床高		2500.00 0.00		15カラーカッパ仕上	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
7 物入	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
8 階段	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品
9 家事室	天井/床高		2400.00 0.00		9WPCフローリング合板 t=15	1木製製品
	大壁		2400.00 0.00		10タコソノワール t=2.8 タコ合板 t=12 226	2木製製品



物件初期設定の外部標準について

仕様書を使用する場合、[物件初期設定 (外部標準 - 外部標準)] の [仕様書から入力する] が ON になり、仕様書にある屋根や外壁仕上が優先されるため、[外部標準] が設定不可になります。

仕様書の使用を取りやめるときは、[仕様書から入力する] を OFF にしてください。

外部標準: 1. 平板瓦/サイディング類

仕上

屋根: 平板瓦葺

軒先形状: 直角

軒天形状: 玄関

屋根構造: 木

屋根勾配: 5.00 / 10

構造高: 0.00 mm

軒天: 軒天ホード

外壁

1階以外: サイディング類張り

1階: サイディング類張り

アクセント壁: サイディング類張り

※巾木高は初期設定基準高さを参照

巾木高: 420.0

外壁素材: 素材を設定する

仕様書

仕様書から入力する

仕様設定

仕様書を確認する

建具を入力する部屋、仕様書に登録された部屋属性を確認してみましょう。

－ 建具と部屋の関連付けを確認する －

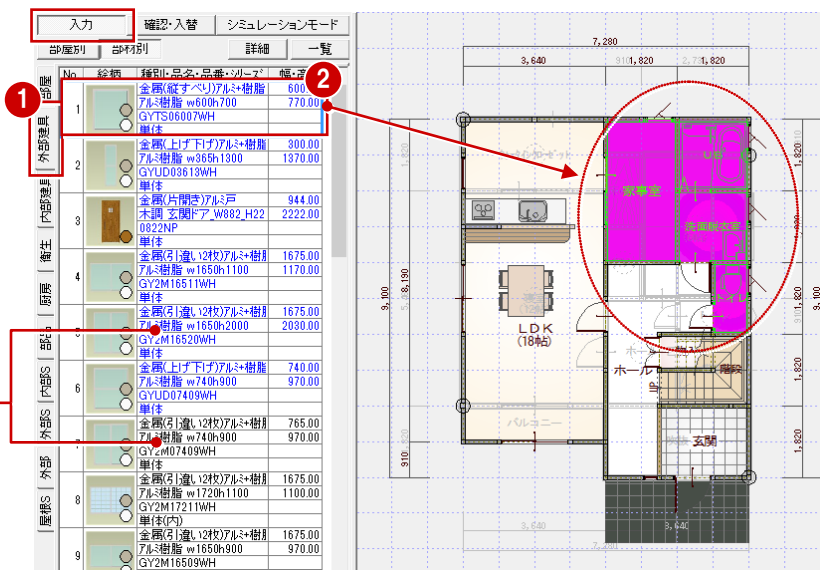
- 1 [外部建具] タブをクリックします。
- 2 確認する建具を選びます。

CAD 画面に、関連付けられている部屋が塗り潰されて表示されます。

一覧の文字色について

- 青字：現在アクティブな図面（1階平面図）に配置されているデータ
- 黒字：現在アクティブな図面に配置されていないデータ（2階平面図に配置されている、または配置されていないデータ）

[入力] が ON のとき、選択している建具を入力する部屋が表示されます。

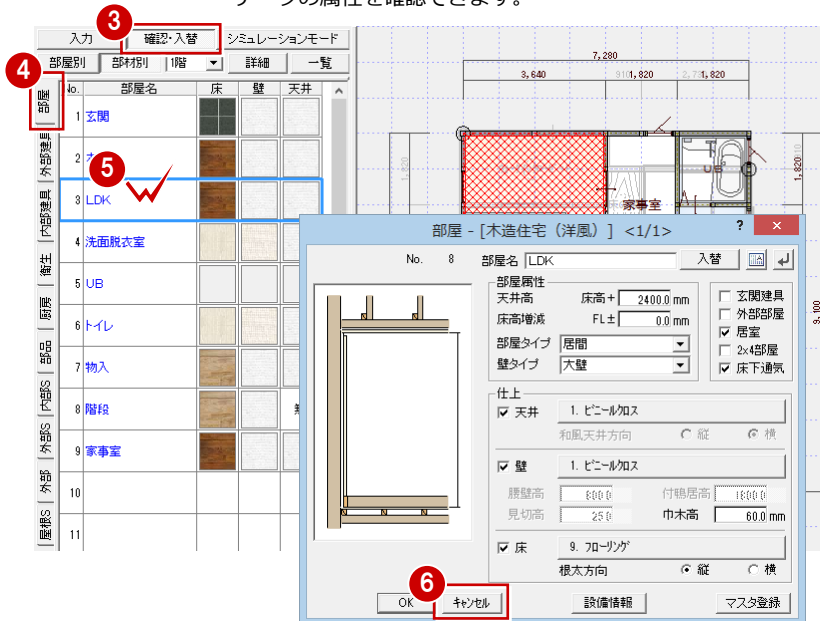


【1階平面図】

－ 部屋の属性を確認する －

- 3 [確認・入替] を ON にします。
- 4 [部屋] タブをクリックします。
- 5 確認する部屋をダブルクリックします。
- 6 部屋の属性を確認して、[キャンセル] をクリックします。

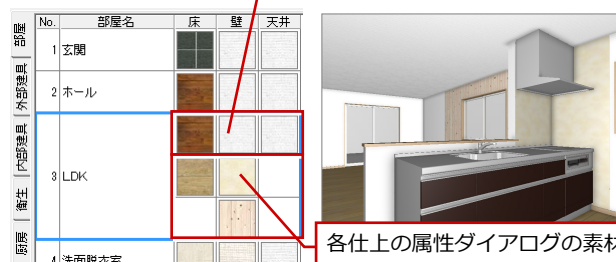
[確認・入替] が ON のとき、選択しているデータの属性を確認できます。



【部屋】タブの各仕上の素材について

【部屋】タブに上がってくる素材は、次のものとなります。

- ・ 部屋の属性ダイアログで設定されている床・壁・天井仕上の素材
- ・ 実際に配置されている床・壁・天井仕上の属性ダイアログで設定されている素材



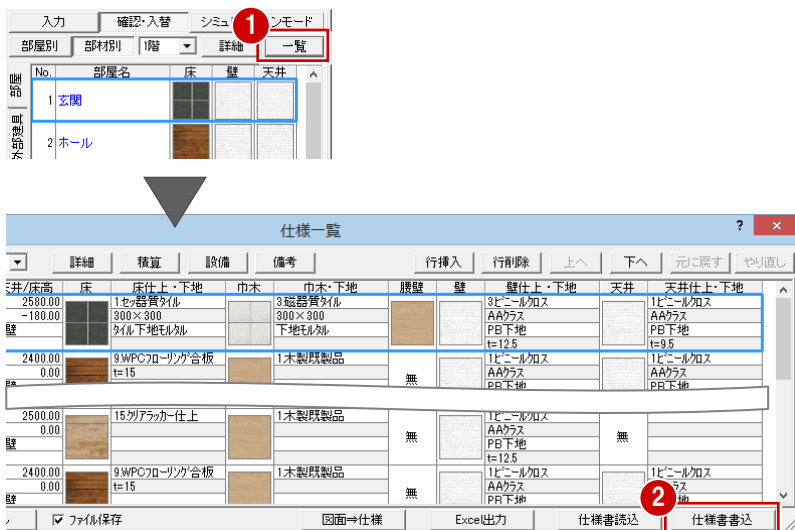
部屋の属性ダイアログと実際に配置されている仕上データの素材が同じとき、各部屋には 1 種類の素材のみが表示されます。

- ・ パースモニタからドラッグして仕上の素材を変更
 - ・ [仕上張り替え] などを使って 1 つの部屋に複数の仕上がある
- このように、部屋の属性ダイアログと仕上データの素材が異なるとき、複数の素材が表示されます。

仕様書をファイルに書き込む

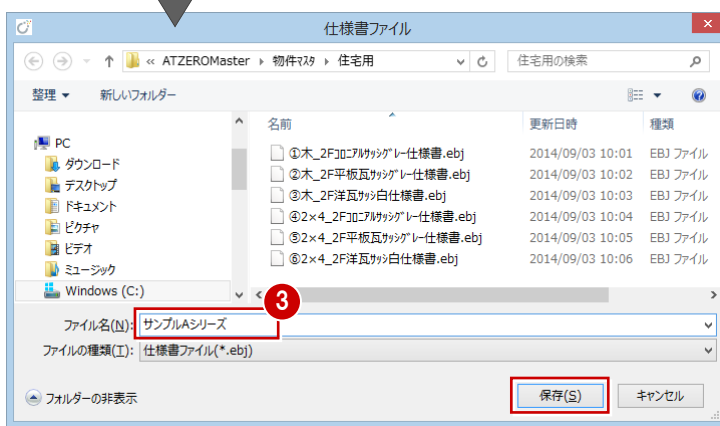
この仕様書を別物件でも使用するには、ファイルに書き込みます。

- 1 仕様書パネルの「一覧」をクリックします。
- 2 「仕様一覧」ダイアログの「仕様書書込」をクリックします。
- 3 「仕様ファイル」ダイアログでファイル名を設定して、「保存」をクリックします。
- 4 「仕様一覧」ダイアログの「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。



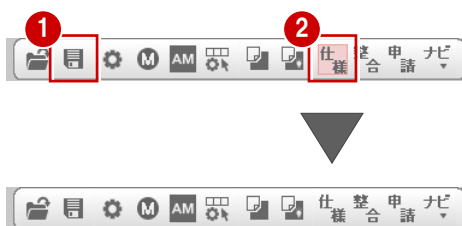
仕様書ファイルの保存先
 ファイルは、次のフォルダに保存されます。
 「C:\%fcapp%\ATZERO\ATZEROMaster\物件マスタ\住宅用」

仕様書ファイルに書き込まれるデータ
 仕様書には、平面図、屋根伏図、天井伏図で入力されているデータおよびその属性、関連する部屋、仕上などのマスタ No や素材の情報が書き込まれます。
 物件初期設定の基準高さ情報、平面図 専用初期設定などの設定は、仕様書に書き込まれません。



データを保存する

- 1 ツールバーの「上書き保存」をクリックして、データを保存します。
- 2 仕様書パネルを閉じるときは、ツールバーの「仕様書からの入力」をクリックします。



編集集中の物件で使用する仕様書
 データを保存すると、編集集中の物件にもこの仕様書「サンプル A シリーズ」が保存され、次回からもこの仕様書を開きます。



2 仕様書を編集するには

仕様書の元になる物件では使用していないが、仕様書に部屋や建具などを追加して仕様書を更新することができます（別仕様書として保存することも可能）。

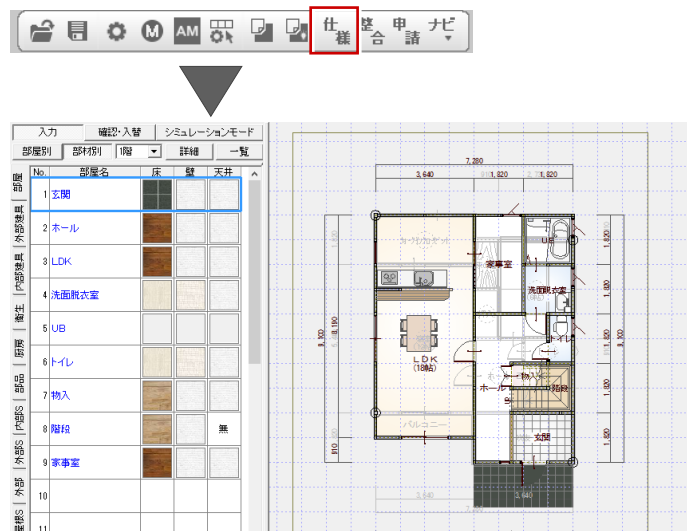
ここでは、「1. 仕様書を作成するには」で使用した物件から仕様書「サンプルAシリーズ」を開いて編集してみましょう。

No.	部屋名	天井/床高	床	床仕上・下地	巾木
1	ホール	2400.00 0.00		85 WPCフローリング合板 t=15	
2	寝室	2400.00 0.00		85 WPCフローリング合板 t=15	
3	洋室	2400.00 0.00		85 WPCフローリング合板 t=15	1木製既製品
4	和室	2400.00 51.00		91畳中絨品 タタ合板	
5	床の間	2400.00 51.00		95タタ合板CL漆	
6	トイレ	2400.00 0.00		86タタフローター タタ合板 t=12	

仕様書を開く

仕様書が保存された物件を開き、[仕様書からの入力] をクリックします。

物件データに保存されている仕様書が表示されます。



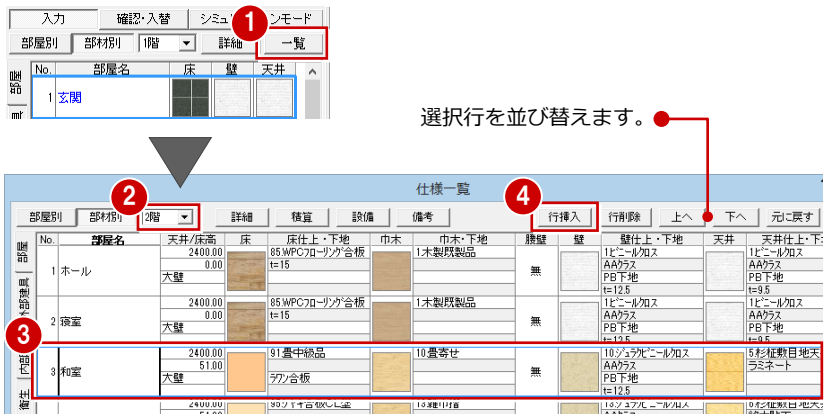
新規物件で仕様書の編集する場合

新規物件を作成したときは、ツールバーの[仕様書からの入力] をクリックして、[仕様書を指定して読込] から仕様書ファイルを選びます。



部屋を追加する

- 1 [一覧] をクリックします。
- 2 [部屋] タブが開いていることを確認して、ここでは階数を「2階」に変更します。
- 3 部屋を追加する行を選びます。
- 4 [行挿入] をクリックします。空行が挿入されます。
- 5 空行をダブルクリックします。
- 6 [部屋マスタ選択] ダイアログで追加する部屋をダブルクリックします。
- 7 各仕上の素材を変更するときは、素材をダブルクリックして素材を選びます。

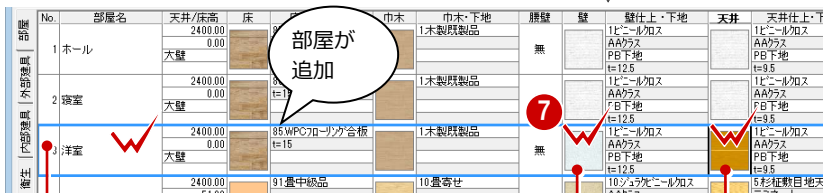


選択行を並び替えます。

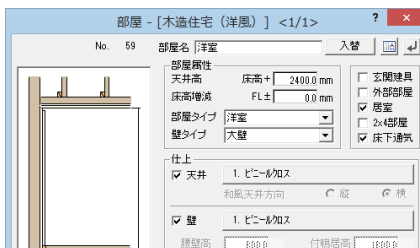


仕様の追加

部屋など仕様の追加は、仕様書パネルの未登録欄をダブルクリックしても可能です。



ダブルクリックすると、部屋属性ダイアログで天井高などの属性を変更できます。

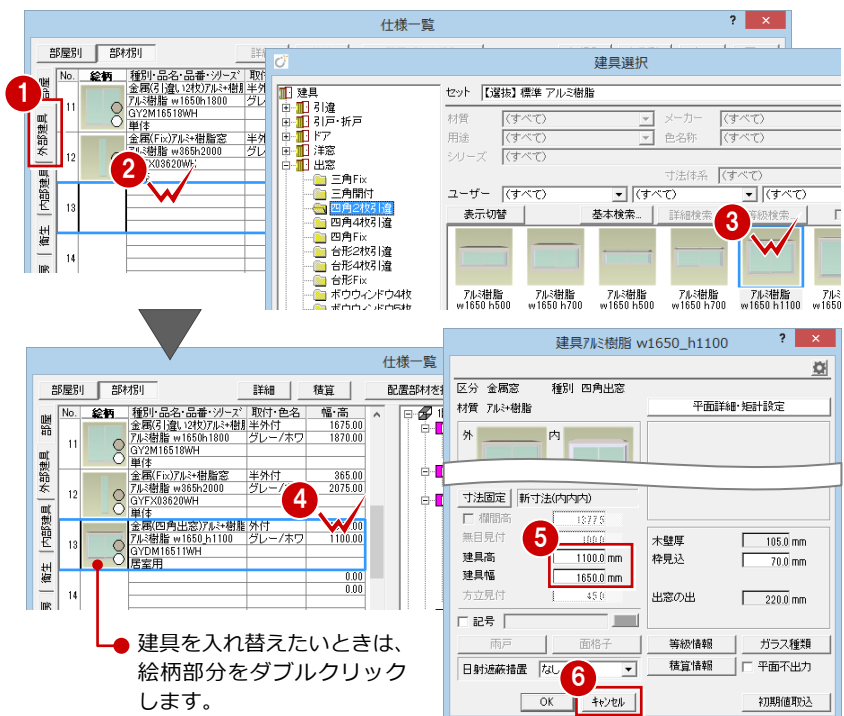


建具の追加と部屋の関連付けを行う

追加した洋室に取り付ける建具を追加します。

- 建具を選択する -

- 1 [外部建具] タブをクリックします。
- 2 未登録欄をダブルクリックします。[行挿入] で行を挿入してからでもかまいません。
- 3 [建具選択] ダイアログで使用する建具を選びます。
- 4 [幅・高] をダブルクリックします。
- 5 建具の属性ダイアログで建具高などの属性を確認・変更します。
- 6 ここでは確認のためのため、[キャンセル] をクリックします。



建具を入れ替えたいときは、絵柄部分をダブルクリックします。

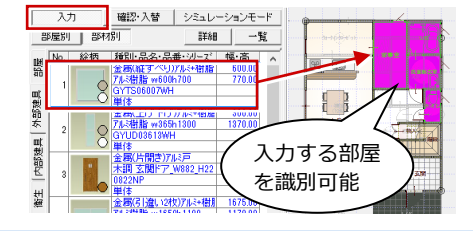
－ 建具を入力する部屋を関連付ける －

- ⑦ 関連付ける建具が選択されていることを確認します。
- ⑧ 右側で建具を取り付ける部屋を右クリックして [配置部材を挿入] を選びます。指定した部屋に建具が関連付けられます。
- ⑨ 同様に、[内部建具] タブをクリックして、洋室に取り付ける木戸を関連付けます。



部屋の関連付け

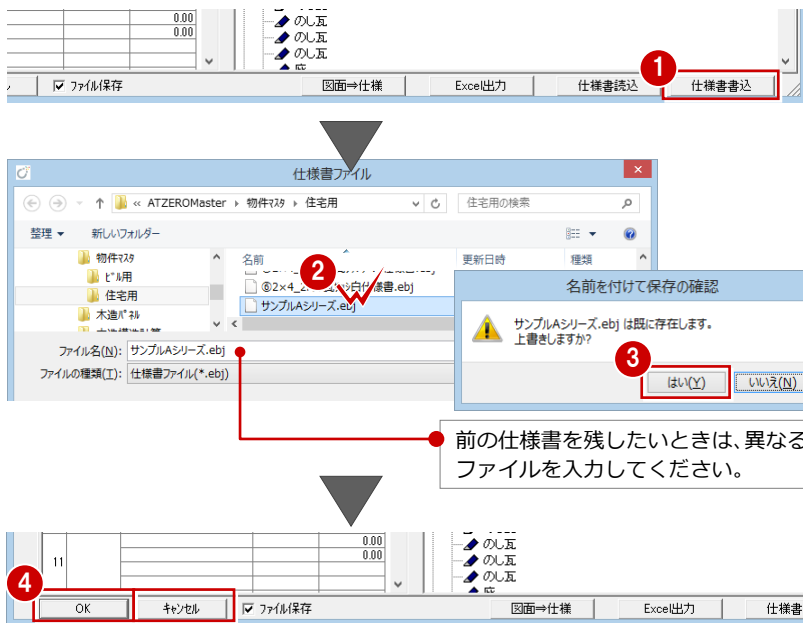
建具や部品などを仕様通りの部屋に配置するために、部材と部屋を関連付けておく必要があります。
 ※ 関連付けを行わなくても部材を配置できます。



仕様書のファイルを更新する

仕様書を変更したため、ファイルを更新します。

- ① [仕様一覧] ダイアログの [仕様書書込] をクリックします。
 - ② [仕様ファイル] ダイアログで上書きするファイル名をダブルクリックします。
 - ③ 保存の確認画面で [はい] をクリックします。
 - ④ 編集した仕様書を現在編集中の物件にも使用したいときは、[仕様一覧] ダイアログの [OK] をクリックします。
- ※ 編集中の物件には使用しないときは [キャンセル] をクリックします。



入力 確認・入替 シミュレーションモード

部屋別	部材別	2階	詳細	一覧
1	ホール			
2	寝室			
3	洋室			
4	和室			
5	床の間			
6	トイレ			

【[OK] をクリックした場合】

入力 確認・入替 シミュレーションモード

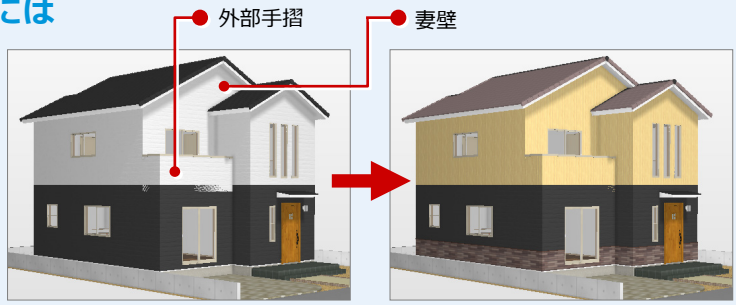
部屋別	部材別	2階	詳細	一覧
1	ホール			
2	寝室			
3	和室			
4	床の間			
5	トイレ			
6	押入			

【[キャンセル] をクリックした場合】

【補足】仕様書の変更を図面に反映するには

次のように、屋根と外壁仕上（腰壁）の素材を変更して仕様書を更新したとき、この仕様書を図面に反映することができます。

※「2. 仕様書を変更するには」で編集した仕様書は、部屋と関連する建具を追加しただけであるため、編集集中の図面に反映するデータはありません。



【外部】タブ：屋根・外壁仕上の素材などを設定します。

部屋別	部位	素材	詳細	仕様	備考	外部標準	追加	上へ	下へ
屋根	仕上	0.平板瓦葺	上・下地	20.0 mm	平板瓦	平板瓦葺			
	軒天	防火軒天ボード	有孔ボード	20.0 mm	木天上下地	軒天ボード			
	破風垂壁				木製				
1階外壁	壁	1.サイディング横張り		16.0 mm	一般				
	巾木	下地無し		0.0 mm	サイディング横張り				
	腰壁	25.0 mm		0.0 mm	一般				
2階外壁	壁	1.サイディング横張り		16.0 mm	一般				
	巾木	下地無し		0.0 mm	サイディング横張り				
	腰壁	25.0 mm		0.0 mm	一般				

外壁仕上 <1/1>

仕上 1.サイディング横張り

見切高 25.0 mm

腰壁高 700.0 mm

水切高 30.0 mm

巾木高 420.0 mm

目地基準点

基準高 GL±

位置 始 中 終

距離 22663.5 mm

高さ指定

取付区分 木

下地オフセット 0.0 mm

階段部屋仕上 上 下

外断熱 厚さ 35 mm

ロック(自動処理対象外)

OK キャンセル

【外部 S】タブ：外部手摺など外部シンボルを設定します。

【屋根 S】タブ：妻壁など屋根シンボルを設定します。

No.	ケル	部材種別
1	ポーチ (仕様有)	
2	バルコニー (仕様有)	
3	手摺 (仕様有)	
6		
7		

手摺 <1/1>

(6)手摺壁柱木

構造 木

再検索

高さ基準 FL

下端高 250.0 mm

壁高 1320.0 mm

手摺高 0.0 mm

壁 手摺 開口

仕上 手摺子 その他

左側面 右側面

目地基準点

下地オフセット 0.0 mm

OK キャンセル ファイル保存

No.	ケル	部材種別
1	のし瓦 (仕様有)	
2	庇 (仕様有)	
3	妻壁 (仕様有)	
4	横瓦 (仕様有)	
8		
9		

妻壁 <1/1>

1.サイディング横張り

目地基準点

仕上+下地+下地オフセット 34.0 mm

基準高 SL±

位置 始 中 終

距離

高さ指定

取付区分 木

下地オフセット 0.0 mm

外断熱 厚さ 35 mm

妻壁優先

OK キャンセル

右クリック

- 入力コマンド呼出(B)
- 確認・ドラッグ入替(V)
- クイック建具入力(K)
- 建具自動配置(A)
- 壁仕上を図面に反映(N)
- 仕様の図面を開く(O)
- 仕様書の外部仕上を優先(G)
- 配置属性チェック(C)...
- 入力履歴チェック(P)
- 図面⇒仕様(Z)
- 仕様⇒図面(Y)
- 詳細(T)...
- 積算(S)...
- 製品情報(H)...
- マスタ選択(M)...

仕様書に外部手摺や妻壁などの外部シンボルを削除して登録されていない、または外部と関連付けがない場合、ON にすると、【外部】タブの仕上を使ってこれらのシンボルにも反映されます。

仕様⇒図面

図面の部屋・仕上・建具・部品類の属性を仕様書に合わせます。よろしいですか？

仕様書の外部仕上を優先する。

図面で選択されたもののみ対象とする。

はい いいえ

柱壁ロック

柱壁ロックが有効になっています。ロック状態を無視して部材を配置しますか？

はい(Yes) いいえ(No)



【仕様⇒図面】で図面に反映される部材

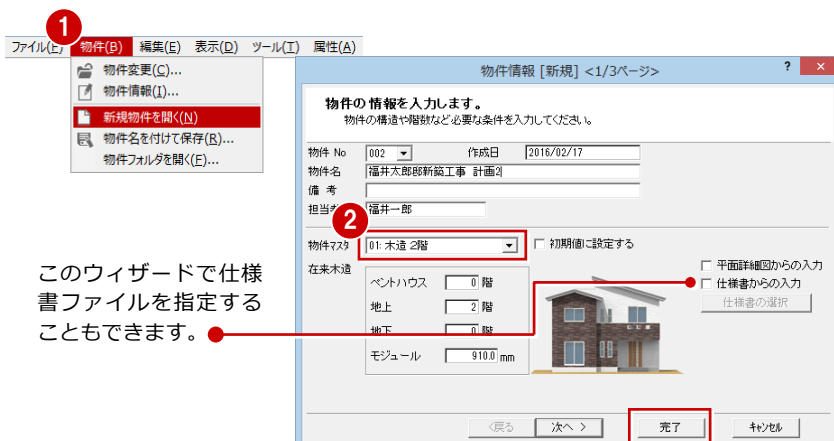
平面図、屋根伏図、天井伏図に対して、部屋、仕上、建具、部品、シンボルを反映できます。なお、【内部 S】の階段など一部反映できないシンボルがあります。

3 仕様書から図面を入力するには

新規物件にて、仕様書を使って仕様書に登録されている部屋、建具などを入力して図面を作成してみましょう。

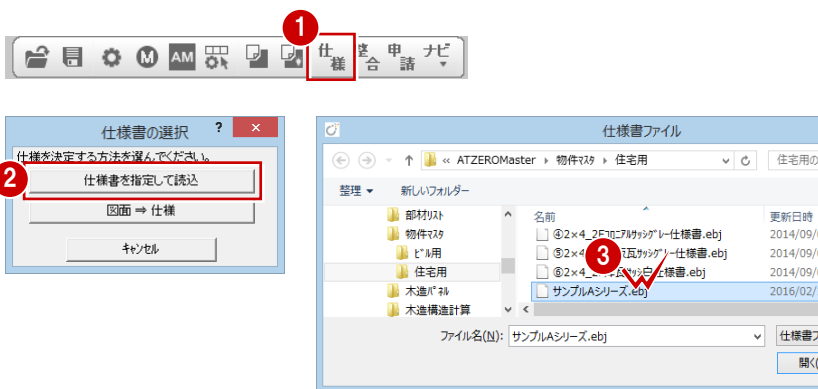
新規物件を作成する

- 1 [物件] メニューから [新規物件を開く] を選びます。
- 2 物件マスタを選び、[完了] をクリックします。

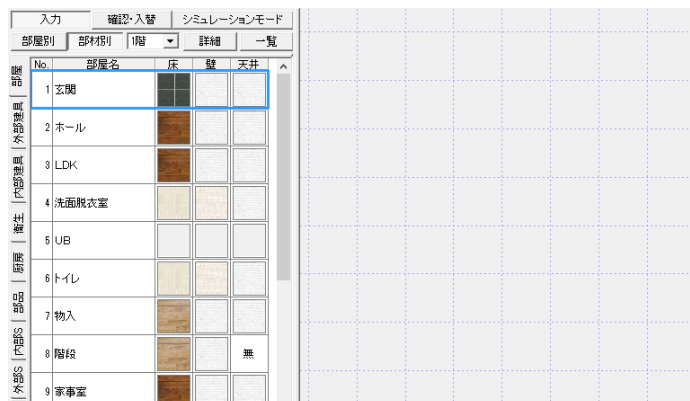
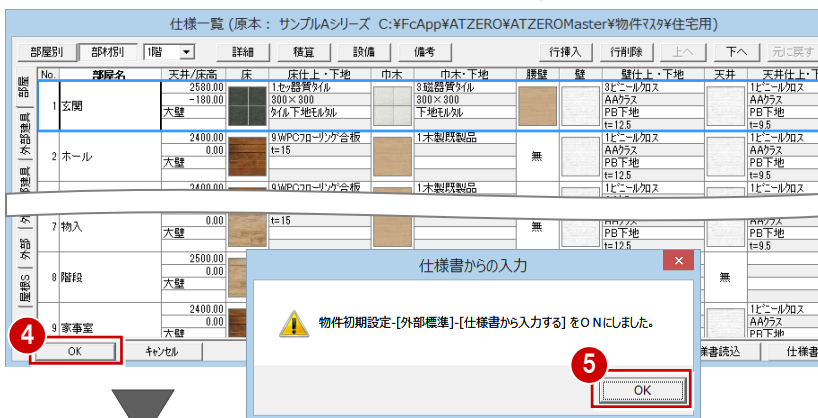


図面から仕様書を作成する

- 1 ツールバーの [仕様書からの入力] をクリックします。
- 2 [仕様書の選択] ダイアログで [仕様書を指定して読込] をクリックします。
- 3 [仕様書ファイル] ダイアログで仕様書ファイルを選びます。

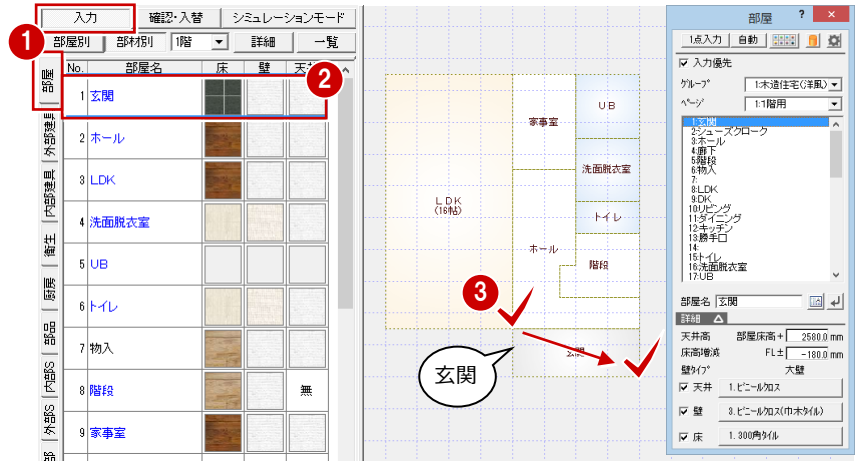


- 4 [仕様一覧] ダイアログを確認して、[OK] をクリックします。
 - 5 物件初期設定の確認画面で [OK] をクリックします。
- 仕様書パネルが開きます。



部屋を入力する

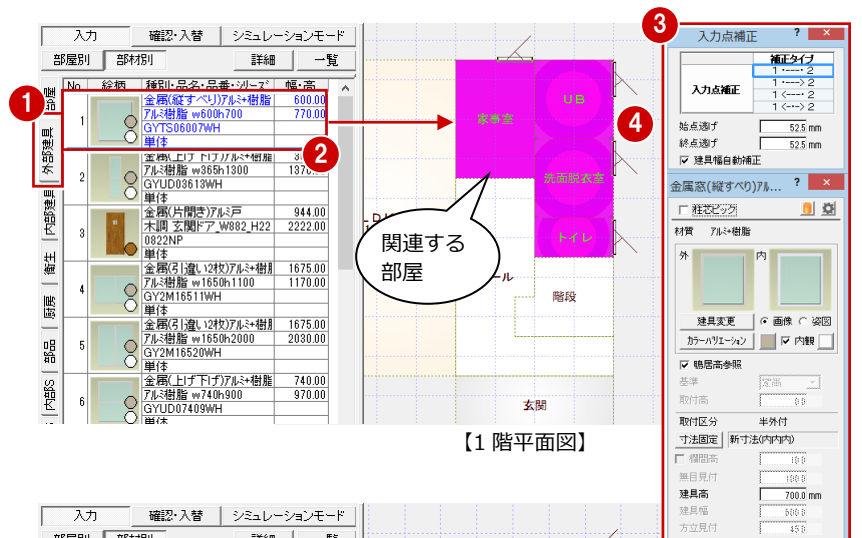
- 1 [部屋] タブが開かれ、[入力] が ON になっていることを確認します。
- 2 入力する部屋を選びます。
[部屋] ダイアログが開きます。
- 3 部屋の範囲を指定します。
部屋を入力すると、仕様書パネルの部屋は青文字に変更されます。



【1階平面図】

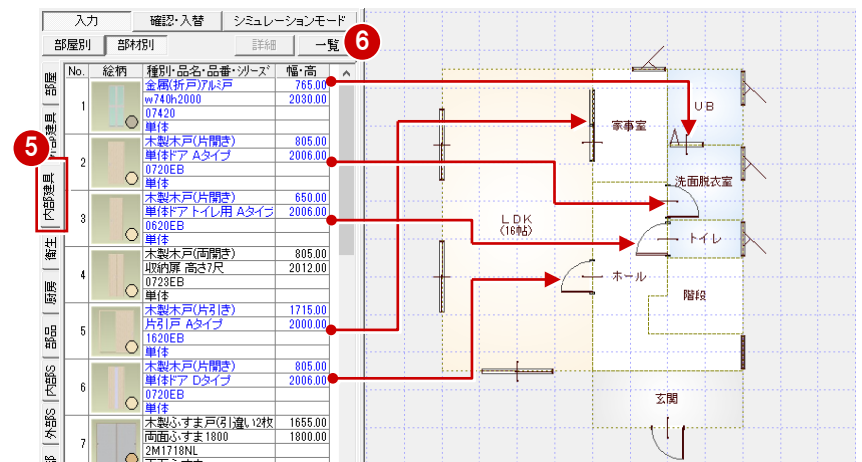
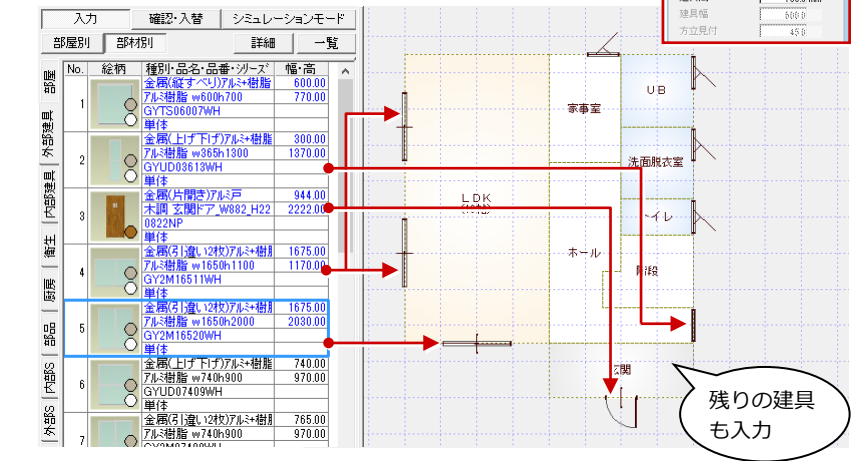
建具を入力する

- 1 [外部建具] タブをクリックします。
- 2 入力する建具を選び、関連付けられた部屋を確認します。
- 3 建具の入力点補正、属性ダイアログで建具高などを確認します。
- 4 建具を入力します。



【1階平面図】

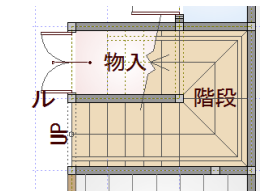
- 5 [内部建具] タブをクリックします。
- 6 同様に、1階に内部建具を入力します。



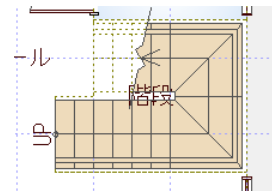
階段を入力する

ここでは、仕様書に登録したときの階段と同じ高さ、形状のものを入力します。

- ① [内部 S] タブをクリックします。
- ② まず 1 つ目の直行階段を選びます。
- ③ [直行] ダイアログには、仕様書に登録したときの階段の高さ、段数がセットされています。
ここでは、このまま入力します。
- ④～⑥ 階段の内側 ⇒ 外側 ⇒ 直行階段の終点をクリックします。



【仕様書に登録したときの階段】



【新規物件で入力する階段】

No.	ツール	部材種別
1	階段	階段 (仕様有)
2	階段	階段 (仕様有)
3	階段	階段 (仕様有)
4	階段	階段 (仕様有)
5	カマチ	カマチ (仕様有)
6	カウンター	カウンター (仕様有)

- ⑦ 続けて、2 つ目の廻り階段を選びます。
- ⑧～⑩ 廻り階段の内側 ⇒ 外側 ⇒ 階段の奥行きをクリックします。

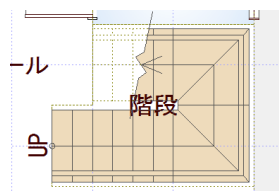
No.	ツール	部材種別
1	階段	階段 (仕様有)
2	階段	階段 (仕様有)
3	階段	階段 (仕様有)
4	階段	階段 (仕様有)

- ⑪⑫ 残りの廻り階段、直行階段を入力します。

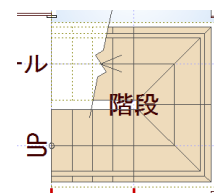
No.	ツール	部材種別
1	階段	階段 (仕様有)
2	階段	階段 (仕様有)
3	階段	階段 (仕様有)
4	階段	階段 (仕様有)

階段属性の高さ・段数について

建物の階高や階段の奥行きなど、仕様書に登録した階段と相違がない場合は、ダイアログにセットされた高さ、段数のまま入力してかまいません。
例えば、右図のように階段の奥行きが異なる場合は、段数を変更して階段を入力し、最後に [階段] メニューの [階段高一括] で高さを再設定してください。

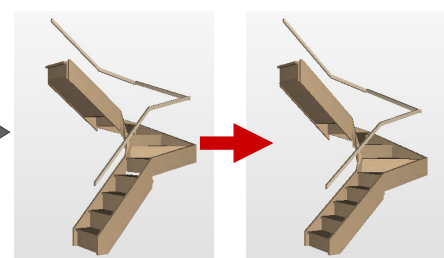


【仕様書に登録したときの階段】



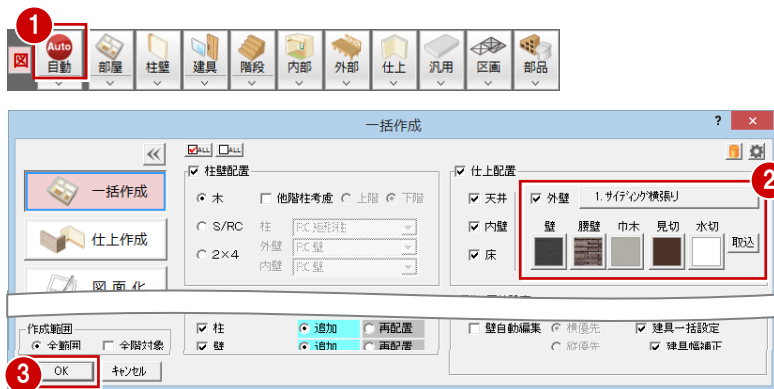
基準	FL
始点高	0.0 mm
終点高	1330.0 mm
高低差	1330.0 mm
蹴上高	266.0 mm
踏面段数	4 段

総踏面段数	12 段	<input type="checkbox"/> 切断線
総蹴上段数	13 段	<input checked="" type="checkbox"/> 切断線
蹴上高	219.2 mm	<input type="checkbox"/> 切断線
基準	FL	<input type="checkbox"/> 切断線
始点高	0.0 mm	<input type="checkbox"/> 始
終点高	2850.0 mm	<input type="checkbox"/> 上
<input type="checkbox"/> 蹴上 踏面調整		<input type="checkbox"/> 踏面
<input checked="" type="checkbox"/> UP-DN文字		<input type="checkbox"/> 踏面
<input type="checkbox"/> 立体・断面不出力		<input type="checkbox"/> 踏面

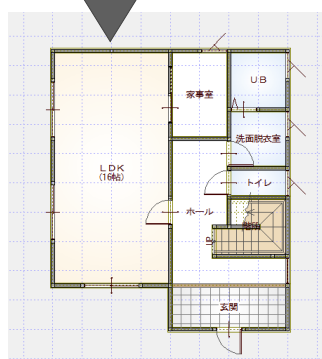


柱・壁・仕上を自動配置する

- 1 [自動] をクリックします。
- 2 [一括作成] ダイアログの [仕上配置] の外壁が仕様書に登録されている素材になっていることを確認します。
- 3 [OK] をクリックします。



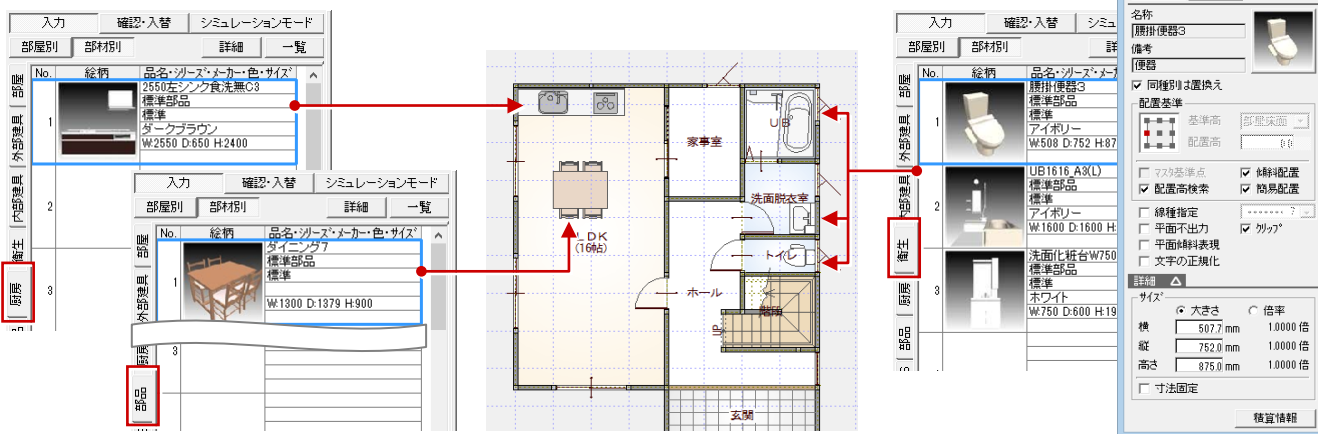
通し柱の入力
 本書では、通り柱の入力を省略していますが、一括作成の前に [柱壁] メニューの [柱] から通し柱を入力してください。



床仕上や外壁仕上が仕様書通りになっていることを確認します。

部品を入力する

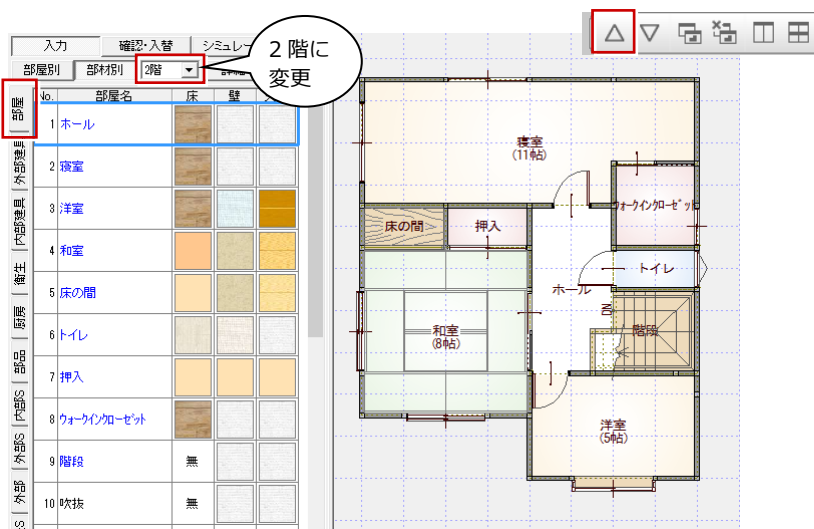
[衛星] [厨房] [部品] タブをクリックして、部品を入力します。
 ※ ダイニングテーブル以外の部品は、[簡易配置] を ON にして入力しています。



2階を入力する

2階平面図を開き、同様な手順で部屋、建具を入力して、一括作成を行います。

- ・ 初めて2階平面図を開いたときは、自動的に1階の階段が複製されます。
- ・ [部屋] タブで階数を「2階」に変更してから部屋を入力します。

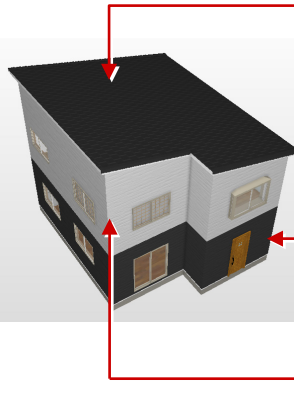
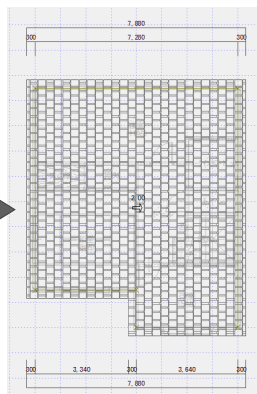
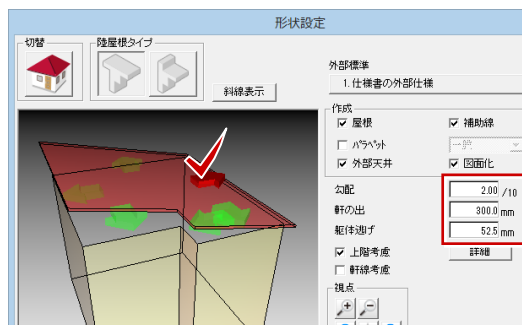


[2階平面図]

屋根を入力する

[外部] タブの屋根と外壁仕上の素材と同じであることを確認できます。

ここでは、[自動] を使って、勾配 2.0 の片流れ屋根を自動配置します。



入力	確認・入替	シミュ
部屋別	部材別	部材別
屋根	仕上	10平方
屋根	軒天	1.1E13
屋根	破風鳥居	1.1E13
壁	壁	1.1E13
壁	巾木	1.1E13
壁	腰壁	1.1E13
壁	1階外壁	1.1E13
壁	2階外壁	1.1E13

【補足】仕様を入れ替えて図面に反映するには

データの入力後、1部材の仕様だけを別のアイテムに入れ替えて、その仕様だけを図面に反映するには、[確認・入替] を使用します。

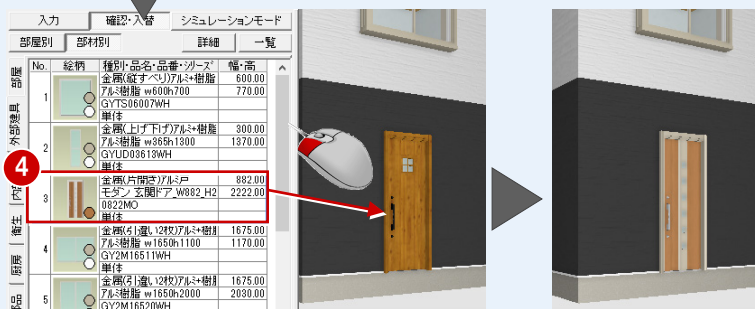
ここでは、パースモニタを使って入れ替えた部材を図面に反映するため、パースモニタを開いておきます。

- 1 仕様書パネルの [確認・入替] を ON の状態にします。
- 2 ここでは [建具] タブを開き、入れ替える建具をダブルクリックします。
- 3 使用する建具を選びます。
- 4 仕様書パネルから入れ替える建具を、パースモニタの変更位置までドラッグします。



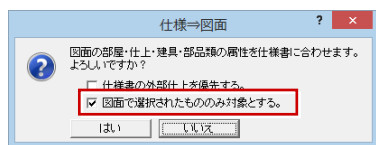
部屋の場合

部屋名をダブルクリックすると、部屋の属性変更ダイアログで天井高などを変更できますが、ドラッグで天井高などを反映することはできません。右クリックして [仕様⇒図面] で反映します。
 ※ 床・壁・天井をダブルクリックすると、各部位の素材を変更でき、パースモニタの各部位へドラッグすると、面単位で素材を変更できます。

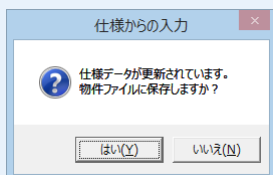


パースモニタを開いていない場合

仕様書パネルで選択している部材のみを図面に反映するには、右クリックして [仕様⇒図面] を選び、[図面で選択されたもののみ対象とする] を ON にします。
 ※ 部屋、外部仕上など個別に反映できないものがあります。



仕様書パネルを閉じるとき、保存の確認画面が開きます。



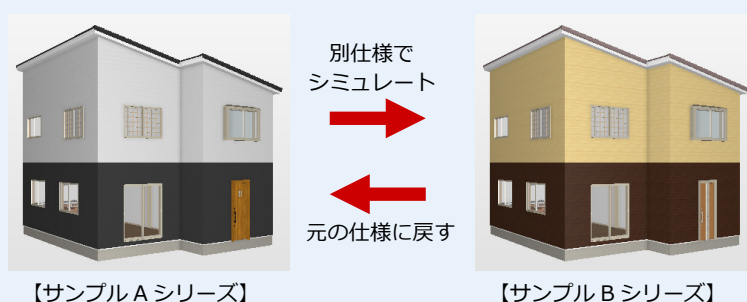
※ この物件データだけの仕様書として保存されます。次回仕様書を開いたときも、この変更した内容の仕様書が開きます。

※ 変更した仕様書を別物件でも使用する場合、仕様書パネルの [一覧] をクリックして、[仕様一覧] ダイアログの [仕様書書込] でファイルを更新してください。

【補足】別仕様で立体と見積をシミュレートするには

[シミュレーションモード]を使用すると、現在の仕様書(サンプルAシリーズ)で作成した物件で、図面に属性を反映せず、別仕様書(サンプルBシリーズ)のパス、手間なし積算などを見積を確認できます。

シミュレーションの結果がよければ、図面に属性を反映することもできます。



- 仕様書パネルの [シミュレーションモード] を ON の状態にします。
- パネルで右クリックして [仕様書を指定して読み込み] を選びます。
- 別仕様書を選びます。
- 確認画面で [はい] をクリックします。
- パスモニタの [再作成] メニューから [前回と同じ条件で再作成] を選びます。



- シミュレートの結果を図面に反映するには、パネルで右クリックして [仕様⇒図面] を選びます。

※ 読み込んだ仕様書を元に戻すには、再度パネルでポップアップメニューの [仕様書を指定して読み込み] で仕様書を選び直し、パスモニタを再作成します。

- 仕様書パネルの [シミュレーションモード] を OFF の状態にします。



個別に部材を変更してシミュレーション

別仕様書を読み込まず、素材や建具などをダブルクリックして個別に部材を入れ替えると、指定した部材だけをシミュレートできます。この仕様を採用しない場合、仕様書を読み込み直すか、右クリックして [元に戻す] で1つ1つ仕様を元に戻す必要があります。

見積のシミュレーション

[シミュレーションモード]を使って、手間なし積算(数量拾い・積算・工事別集計も可)を行うことで、比較見積を行うことができます。

- [シミュレーションモード] を OFF の状態で、手間なし積算(1面目)に自動集計します。
- 別仕様書に変更します。
- [シミュレーションモード] を ON に変更し、手間なし積算(2面目)に自動集計します。



4 仕上・設備の仕様一覧を作成するには

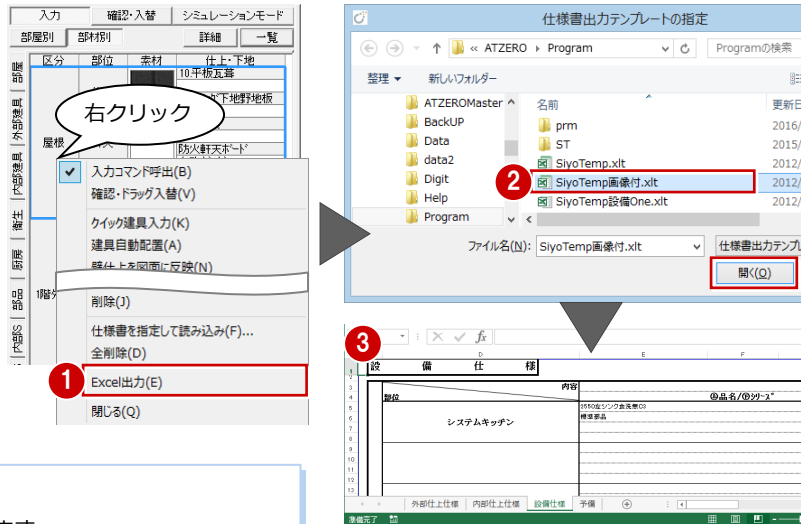
仕様書から外部仕上仕様（外部仕上表、外部建具（玄関建具のみ）、内部仕上仕様、設備仕様の一覧を、用意しているテンプレート（雛型）を使って Excel ファイルに出力します。

内部仕上表 (1)													
室名	部所	床				巾木				壁			
		①仕上・	②下地	画像	摘要	①下地	画像	摘要	①仕上・	②下地	画像	摘要	
1	玄関	①木製タイル ②下地モルタル		300×300	機連	①木製タイル4 フラック		300×300	①木製タイル4 下地モルタル		木製既製品		木製既製品
	ホール	MFCフローリング合板		t=15	機連	MFCフローリング チェック			①木製タイル4 PE下地		木製既製品		木製既製品
	LDK	MFCフローリング合板		t=15	機連	MFCフローリング チェック			①木製タイル4 PE下地		木製既製品		木製既製品
	洗面脱衣室	クッションフロア タフ合板		t=2.3	機連	クッションフロア-23 水防合			①木製タイル4 防水PE下地		木製既製品		木製既製品
	UB	クッションフロア-23 水防合		t=12	機連	クッションフロア-23 水防合			①木製タイル4 防水PE下地		木製既製品		木製既製品

図面名	内部仕上表	作成年月日		工事名	福井太郎邸新築工事 計画2
-----	-------	-------	--	-----	---------------

Excel へ出力する

- 仕様書パネルで右クリックして「Excel 出力」を選びます。
- 「仕様書出力テンプレートの指定」ダイアログで仕様書のテンプレート（雛型）を選択して、「開く」をクリックします。
- Excel が開きます。内容を確認・修正して保存します。



テンプレートについて

「○:¥FcApp¥ATZ¥Program」フォルダに保存されています。

テンプレート	内容
SiyoTemp.xlt	外部仕上仕様（玄関建具を含む）、内部仕上仕様、設備仕様を出力します（素材・建具・部品の画像なし）。
SiyoTemp 画像付.xlt	素材・建具・部品の画像を付けて、外部仕上仕様（玄関建具を含む）、内部仕上仕様、設備仕様を出力します。
SiyoTemp 設備 One.xlt	「SiyoTemp.xlt」とは異なり、外部仕上仕様と設備仕様を 1 つのシートにまとめて出力します（素材・建具・部品の画像なし）。

Excel へ出力される仕様内容
 実際に図面に入力されているデータではなく、仕様書パネルに登録されている内容が出力されます。
 例えば、仕様書パネルに、図面に入力していない部屋や設備があっても、Excel に出力されることになります。

【補足】Excel 出力と外部仕上表・内部仕上表プログラムの使い分け

処理選択の外部仕上表と内部仕上表プログラムを使っても、外部仕上表と内部仕上表を作成できます（Excel 出力とはひな形が異なります）。
 仕様一覧を作成する場合、ひな形や目的に応じてどちらを使用するか決めてください。



プログラム	利点
Excel 出力	<ul style="list-style-type: none"> 素材や建具の画像付きの一覧を作成できる。 Excel ファイルのため、他のパソコンでも閲覧できる。
外部仕上表・内部仕上表	<ul style="list-style-type: none"> 仕上表を図面に起こして編集、レイアウトできる。 平面図など他図面といっしょに物件データとして管理できる。

【補足】仕様書パネルのポップアップメニュー

仕様書パネルを右クリックしたときに表示されるポップアップメニューのコマンドについて紹介します。

✓	入力コマンド呼出(B) 確認・ドラッグ入替(V)
	クイック建具入力(K) 建具自動配置(A) 壁仕上を図面に反映(N)
✓	仕様の図面を開く(O)
✓	仕様書の外部仕上を優先(G)
	配置属性チェック(C)... 入力漏れチェック(P) 図面⇒仕様(Z) 仕様⇒図面(Y)
	詳細(T)... 積算(S)... 製品情報(H)... マスタ選択(M)...
	元に戻す(U) やり直し(R) 削除(J)
	仕様書を指定して読み込み(F)... 全削除(D)
	Excel出力(E)
	閉じる(Q)

コマンド	機能
入力コマンド呼出	仕様書パネルで選択している部材を入力できるモードに切り替えます(仕様書パネルの「入力」と同じ)。
確認・ドラッグ入替	部材と図面の関連付きを確認、また仕様を入れ替えます。 ON のとき、関連付けられたデータが赤く表示され、配置位置を確認できます。また、仕様をダブルクリックすると、建具・部品・素材の入れ替え、部屋の属性変更を行うことができます。 また、仕様をパースモニタへドラッグ&ドロップすることで図面に反映できます。
クイック建具入力	仕様書に登録されている建具を、対象部屋を意識しないで入力します。各部屋に登録されている建具の中で入力点間が近い建具が、配置対象になります。
建具自動配置	部屋と建具の関連付けをもとに、仕様書に登録されている建具を自動配置します。
壁仕上を図面に反映	選択した仕様書の仕上だけを、図面に反映します。 コマンドを実行すると、平面図が壁仕上入力モードに切り替わります。平面図上で、変更する壁仕上ラインをクリックします。
仕様の図面を開く	「確認・ドラッグ入替」が ON のときに切り替え可能です。 ON のとき、仕様データが配置される図面プログラムを自動的に開きます。 「入力コマンド呼出」が ON のときは、常に ON となります。
仕様書の外部仕上を優先	「シミュレーションモード」が ON のときに使用します。 ON のとき、パースモニタの再作成時に、各外部シンボルの外壁や屋根が仕様書の外部仕上で作成されます。仕様書に屋根、外壁が複数登録されている場合には、その階の薄紅色の仕上で作成されます。 OFF のとき、平面図に配置されている状態でパースモニタを作成します。
配置属性チェック	図面に配置された属性と仕様書の内容を比較して、相違を確認して修正します。
入力漏れチェック	仕様書から入力した部材について、仕様書の配置情報と照合して入力漏れがないかをチェックします。
図面⇒仕様	平面図・屋根伏図・天井伏図に配置されているデータをもとに仕様書を作成します。
仕様⇒図面	仕様書の内容で、関連付いている平面図・屋根伏図・天井伏図に配置されているデータの属性(部屋属性、仕上素材、積算情報など)を変更します。
詳細	仕様の属性変更を行います。
積算	仕様の積算情報を変更します。
製品情報	AM 素材・建具・部品の情報を表示します。
マスタ選択	マスタ選択のダイアログを開いて、AM 素材・建具・部品を入れ替えます。
元に戻す	編集した状態を直前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」で戻した内容を復帰します。
削除	選択されている行(仕様)を削除します。
仕様書を指定して読み込み	保存されている仕様書ファイル(*.ebj)を読み込み、現在の仕様書を入れ替えます。
全削除	開いている仕様書の内容(全タブの仕様)を全て削除します。 Shift キーを押しながら「全削除」をクリックすると、開いているタブの仕様だけを全て削除します。 ※ 誤って削除した場合は、ポップアップメニューの「元に戻す」を実行してください。
Excel 出力	テンプレートを使って、外部仕上仕様(外部仕上表、外部建具(玄関建具のみ)、内部仕上仕様、設備仕様の一覧を Excel に出力します。
閉じる	ポップアップメニューを閉じます。